

共済資金融資随時貸付けのご案内

この融資制度は、軍用地等地主の生活の安定と福利の増進を目的とした長期で低利の優遇された制度資金です。

◆ご利用いただけるかは
土地連共済会会員又はその一親等の統柄の者
(重複貸付けは認めません)

◆資金使途
住宅資金・事業資金・設備資金・農業資金及びその他。

◆貸付け申込受付
随時に各所属地主会において受け付けいたします。
※申込受け付けの際には預り証を持参して下さい。

◆借入れ手続及び融資実行
融資希望金融機関より融資予約の通知がありしい、借入れ手続のうえ融資を受けて下さい。

◆持参書類
◇土地賃借料算定調書及び土地明細書(コピー)
◇戸籍謄本又は抄本(一親等者の借入れに限る)
◇土地登記簿謄本
※印鑑及び預り証持参

ご融資の条件

- 1 融資限度
最高額一千万円(但し融資枠の減少により限度を制限することもある)
- 2 期間
十五年以内
- 3 利率
長期プライムレート適用(年二回金利見直し)
- 4 担保
当該軍用地及びその他
- 5 保証
原則として保証人はいません
- 6 償還方法
月賦・年賦
※詳しくは各所属地主会、又は連合会にお問い合わせ下さい。

一軍用地問題解決に一生を捧げる一

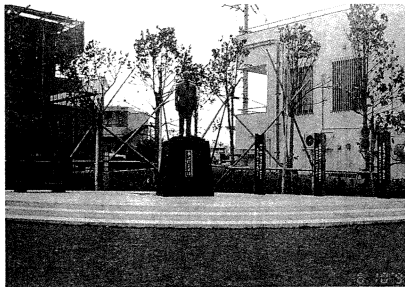
「桑江朝幸之像」除幕式典並びに祝賀会

「民族の血は燃えたぎり
土地守れと雄叫びあげて
村々を行く」

当連合会においては、軍用地諸問題の解決に一生を捧げ尽力された当会初代会長桑江朝幸氏の功績を讃え、永くこれを後世に顕彰すべくその顕彰事業を推進してまいりましたが、銅像本体及び敷地整備工事が七月に完了し、太平洋戦争終結五十周年となる、八月十五日に、沖縄市土地のやまなみ通り、国体道路一沿いの現地において除幕式典並びに祝賀会を開催しました。除幕式には、土地連関係者をはじめ、桑江氏にゆかりのある、百人余の方々が参列、節子夫人、朝也氏、長男、朝裕君(孫)の遺族と新城会長、青山洋一氏の五人が銅像の除幕に立ち会いました。

新城会長は、桑江氏は沖縄の運命を左右するとまでいわれた軍用地諸問題に関する、島ぐるみ闘争の実践の旗手として、自任の先頭に立ち、身を賭して活躍するとともに、軍用地主代表として、当時の琉球政府行政に廣らと二度に亘り渡米し、沖縄県民に与えたる人権侵害と財産権損失の実情を直訴するなど、軍用地諸問題の解決並びに沖縄の領土権を守る運動に一生を捧げられた。銅像建立にあたってご協力をいただいた関係各位に感謝を申し上げます。と式辞を述べました。

建立敷地は六〇・二七八平方メートル、琉球石灰岩の石積みで囲われ、福水、桜などの植栽が施されており、そのほか、銅像の周囲には、桑江氏が生前親しみ誦まれた短歌の中から、「子供の頃遊びあけし野も山も、基地に奪われおのこたもなし、民族の血は燃えたぎり、土地守れと雄叫びあげて村々行く、耐えに耐え希望捨てず助みなば、花咲き移る日も遠からし」の歌碑も建立しました。なお、台座の表路版、歌碑とも沖縄市の書家、上岡徳保氏の揮毫によるものです。



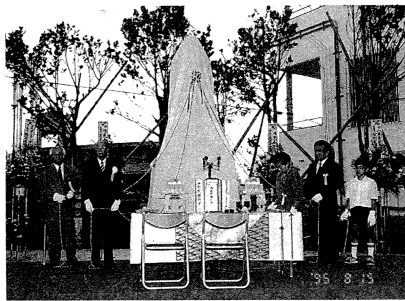
銅像の周囲には歌碑も建立されている。



初代会長桑江朝幸氏のありし日の勇姿がよみがえる。



式辞を述べる新城会長。



節子夫人遺族らと新城会長、青山氏が除幕に立ち会う。



故比嘉氏

計 報
第二代会長の
比嘉貞信氏
が逝去

当連合会顧問(第1代会長)比嘉貞信氏(六十九歳)にはかねて病氣療養中のごころ、業石効なく、二月八日逝去されました。比嘉氏は昭和十八年当会最初の職員として勤職、その後、ゴザ市議会議員、沖縄市軍用地地主会長などを経て、四十二年当会第1代会長に就任、五十二年には故桑江沖繩市長に請われて助役として市役所入り、退任後は当会顧問の要職にあり、また、故桑江朝幸氏の顕彰事業委員長として事業推進に取り組みしておりました。氏は、持前の洞窟方と前向きな姿勢で三万軍用地主のために積極的に軍用地問題解決に取り組みでられました。特に、沖縄の本土復帰に際しての、六倍余の軍用地料獲得と復帰後、戦後沖縄の集大成とまで言われた「地籍明細化法」の制定に尽力されたことは特筆されます。特に、故桑江朝幸氏の顕彰事業委員長として、「桑江朝幸之像」の完成を謹よみながら、待望の望んでおりましただけに、志半ばに止し不帰の客になられたことは誠に残念であり、当連合会にとつて惜しまれてなりません。ここに氏の功績を讃えるとともに、謹んで御冥福をお祈りいたします。